

SEVISと国土安全保障 ICEの役割

SEVISは入国システムの信頼性を回復するというICEの目的の一環として設立されました。合衆国にいる外国人留学生や交換訪問者の滞在資格情報をより効果的に管理することにより、SEVISはICEの国土安全保障における重要な役割を果たし、かつ滞在資格のある全ての外国人留学生や交換訪問者がアメリカの優れた学校、教育プログラム、並びに文化を体験できるようにするものです。



SEVIS

The Year in Review

August 2004

 **U.S. Immigration
and Customs
Enforcement**

072604

SEVISプログラム 背景

2003年3月1日の国土安全保障省(DHS)の発足と共に、合衆国で学ぶ外国人留学生や、また交換訪問者がビザや入国の法律を遵守するよう徹底させ、合衆国入国システムの信頼性を回復するように、留学生並びに交換訪問者プログラム (SEVP) が考案されました。

SEVPは、DHSの最大の捜査機関である合衆国移民税関捜査局(ICE)の一部であります。ICEにおけるSEVPの任務は、アメリカの優れた学問と文化的なプログラムを享受することを希望する外国人留学生並びに交換訪問者の入国を円滑にし、かつアメリカに危害を及ぼそうとする者から米国を守ることであります。

留学生並びに交換訪問者情報システム (SEVIS)とは、合衆国にいる外国人留学生と交換訪問者の情報を管理するウェブサイトを基盤にするシステムであり、国土安全保障においてICEの中核となる技術です。

2003年1月1日に本格的に機能し始めて以来、SEVISはほぼ継続的に改良と拡張を続けてきました。最初の二年間で主要な技術的システム・アップグレードを合計12回行う予定で、これにより何百もの改善が実施され、SEVISをより効果的、かつユーザーにとって使い易いものにします。

SEVIS: 初年度

米国議会により、SEVISの認可校に通学もしくは認可プログラムに参加している全ての非移民の留学生と交換訪問者は、2003年8月1日までにSEVISシステムに登録が義務づけられています。

多くの学校がこの期日に間に合うのは困難であろうと推測されるため、学校が認可されていないがためにSEVISシステムに登録していない留学生と交換訪問者の対応にあたるよう、ICEは特別SEVICレスポンス・チーム (SRT) を発足させました。

SRTは留学生の米国入国に関する問題解決のため、米国税関及び国境保安局 (CBP)の職員、審査員、捜査員、学校並びに留学生と協力しました。約一ヵ月半の間で、SRTは8000件以上の電話を受け、また5400件以上の留学生や交換訪問者の入国問題に対応しました。

2004年の1月にSRTはICEは新学期に向けて米国に入国する外国人留学生と交換訪問者の入国資格の審査においてCBP職員を援助しました。この期間、SRTが受けた電話件数と対応した問題件数は非常に少なく、2004年1月に対応した問題は550件のみでした。これは入国手続時におけるCBP職員がSEVISを利用して、米国に到着した外国人留学生の入国資格を判断するのに熟練してきたことを示すものです。

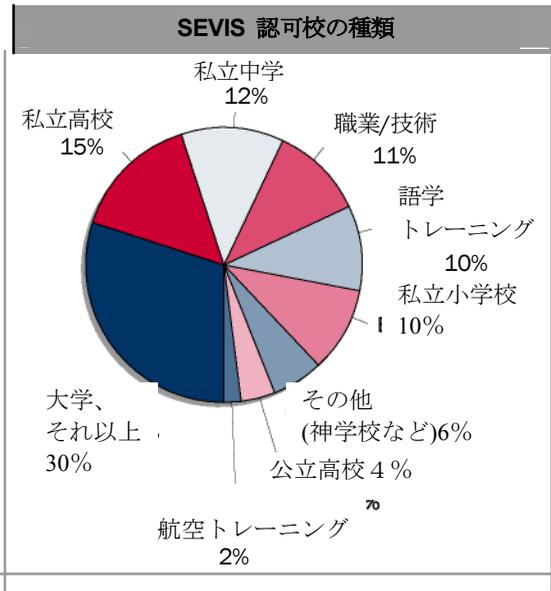
 **U.S. Immigration
and Customs
Enforcement**

数字によるSEVIS

2004年7月現在で7,7000人以上の留学生と交換訪問者（F-1、M-1、J-1のビザ保有者）がSEVISに登録されています。SEVISには留学生と交換訪問者の扶養家族が10万人以上登録されています。

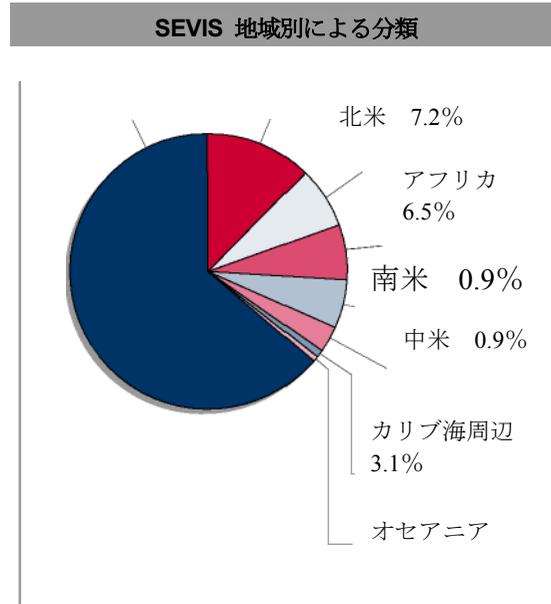
このプログラムは成果を上げており、2003年8月以来、初回のSEVISの記録の分析では36,600件以上の滞在資格違反の疑いのある事例があげられました。綿密な調査の結果、約1,600件がICE調査官の最終的な調査の対象となり155件の滞在資格違反による逮捕につながりました。

現在SEVISの認可を受けた学校は7,318校でこれは全米のキャンパスの数にすると9,500校となります。更に、1,400人以上の交換訪問者プログラムがSEVISで登録されています。でSEVISの認可を受けた学校を種類別に分けて下の円形グラフに示します。



国際的なプログラム

SEVISの留学生、職業訓練生は下に示されるように世界各国から来ています。



初年度の成果の表彰

SEVISはE.Govインスティテュートのパイオニア賞を受賞

E.Govインスティテュート・ガバメント・ソリューション・センターはSEVISを、画期的な応用と効率的な手法で職務の改善を図った“最高の実践”プログラムとして表彰し、本年度の15の受賞者の一員となりました。

社会保障番号の発行手続きの拡充

DHS、社会保障事務局（SSA）、並びに国務省の新しいジョイント・ベンチャーとして、SSAから留学生や交換訪問者の資格に関する問い合わせがある際、SEVISを利用して調査を行います。人手による資格の調査はしばしば何週間もかかりましたが、SEVISがこれに取って代わります。これにより資格の有る留学生や交換訪問者は、社会保障番号をより効率的に迅速に受け取ることができます。2004年1月以来32,000件以上にSEVISデータは照合のために使われています。

GAOによるSEVISの評価

議会の捜査機関である米国連邦会計検査局(GAO)の2004年6月の報告書では、初年度におけるSEVISの向上を評価しています。GAOの分析と教育機関からの意見に基づきこの報告書では、SEVISの機能が初年度において改善したことを指摘し、また今後更に改善するよう推薦をしています。

SEVISによる関係機関・団体への訴えかけ

SEVISプログラムを継続的に改善していくため、SEVPは学校関係者との電話会議を毎週主催し、また数多くの学会や討論会に参加して、本システムの機能に対しての意見を求めています。

SEVPとICEの間の協力 法律準拠執行部隊 (CEU)

ICEの捜査において入国資格の違反者の追跡を最大限効果的に行えるよう、SEVPは資格違反につながるかもしれない事例の調査及び分析において、ICEの法律準拠執行部隊(CEU)を援助する窓口となる役職を発足させました。

SEVIS: 次年度へのステップ

留学生と交換訪問者の費用の規定

2004年9月1日からSEVPはSEVIS費用（大半の場合100ドル）をF、J、Mの非移民の留学生と交換訪問者から徴収します。この費用は米国議会により義務づけられかつこのプログラムの存続には不可欠のものです。またこれによりICEはSEVIS関係団体との協力体制を増強するよう、より多くの職員を各地の現場に配置することができます。費用に関する詳細はSEVISのウェブサイト www.ice.gov を参照して下さい。

SEVIS 連邦諮問委員会 (FAC)

学校関係者やその他の関係者からの意見に応え、ICEはSEVISへ提案された改善点を検討するための諮問機関を発足する予定です。この諮問機関は、SEVISプログラムの継続的な改善にあたり、各関係者の意見が確実に反映されるようにするためのICEの積極的な働きかけを拡充するためのものです。